

ELJ105: Japanese for Heritage Students

Week 01

Tomonori Nagano <tnagano@lagcc.cuny.edu>

Education and Language Acquisition Dept.
LaGuardia Community College

March 2, 2019

クラスのルール

クラスのルール

- このクラスは、各生徒個人の成長を基準に成績が与えられます。すでに高度な日本語能力を持っているからといって、必ず良い成績がもらえるわけではありません。
- このクラスでは、できるだけ日本語を使用してください。日本語で話すくらいトピックは、英語で話してもよいです。
- 他の学生が困っている時には、積極的に助けてあげましょう。
- クラスで他の人を呼ぶ際には、先生は「～先生」、他の学生には「～さん」「～くん」をつけてください。
- 困ったことや、クラス内で聞けないことがあれば、tnagano@lagcc.cuny.eduまでメールで質問してください。

自己紹介(in Japanese style)

- Make five business cards (write down your name, e-mail (optional), phone (optional), and interests). Meet with five new people that you have never spoken with.



クラスの概要

クラスの概要

- ELJ105 is designed
 - for heritage speakers of Japanese
 - to enhance their reading and writing competence and Japanese grammar and usage
 - through project-based assignments.

日本語継承語話者とは I

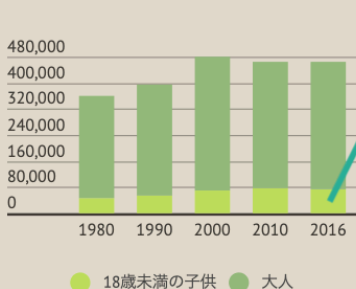
- Who are heritage speakers of Japaense (日本語継承語話者) in the U.S.?
にほんごけいしょうごわしゃ
 - 日本語継承語話者は、いつアメリカに来ましたか？
にほんごけいしょうごわしゃ
 - 日本語継承語話者は、アメリカに何人いますか？
にほんごけいしょうごわしゃ
 - 日本語継承語話者は、主にどこに住んでいますか？

日本語継承語話者とは II

日本語継承語話者の歴史

- 1880-1924 年: 日米紳士協定 (1908)、アメリカ移民法 (1924 年)
- 1939-1945 年: 大統領令 9066 号 (1942)、第 442 連隊戦闘団 (ダニエル・イノウエ上院議員)、フレッド・コレマツ (1944)
- 1952-1991 年: 東京オリンピック (1964)、日本の家電、自動車メーカーの台頭 (Sony, Toyota etc)、駐在ビジネスマン
- 1991-2019 年: バブル崩壊 (1991-1995)、フレッド・コレマツの日制定 (2010)

日本語継承語話者とは III

北米で家庭で日本語を話す子供の数¹

72,472人

2016年のアメリカ国勢調査 (American Community Survey) によると、家庭で日本語を話す子女はおおよそ7万人いる。外務省、文部科学省が把握している数 (約2.3万人) と異なるのは、「在留届」を出さない家庭が多いことと、日本国籍を持たないアメリカ在住者で日本語を話す子女の数も含まれるからだと思われる。この国勢調査のデーターを考えると、上記の日本語を家庭で話す教育は「現地校のみ (日本語教育はなし)」という数の子女の実数は、約1万人よりもかなり多いと考えられる。

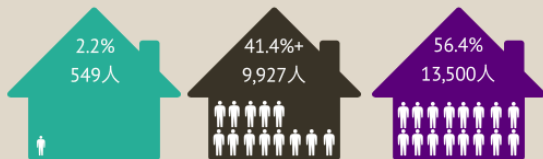
参照: Ruggles, Steven, Flood, Sarah, Goeken, Ronald, Grover, Josiah, Meyer, Erin, Pacas, Jose, & Sobek, Matthew (2018). IPUMS USA: Version 8.0 [dataset]. Minneapolis, MN: IPUMS. . Note: <https://doi.org/10.18128/D010.V8.0>

1. American Community Surveyは、アメリカのみを対象とした国勢調査なので、このデーターは北米地域全般ではなく、アメリカ (北米) のみのデータである。

日本語継承語話者に関する統計

北米地域での邦人子女への日本語教育の現状

補習校+米國現地校



97.8%

北米地域(米国、カナダ)の邦人子女のほぼ全員が日本人学校に所属せず、「現地校のみ(日本語教育なし)」か「補習校」に通学している。

参照: 文部科学省 初等中等教育局国際教育課 (2016). 海外で学ぶ日本の子どもたち



日本語継承語話者の日本語能力I

- ^{なかじま}中島(1988)は^{にほんごがくしゅう}トロントで日本語学習を^{じゅうねんかんけいぞく}10年間継続し
^{につけいじんこうこうせいじゅういちねんせい}た日系人高校生^{じゅうにねんせい}11年生と^{にほんごのうりよく}12年生の日本語能力を^{ちょうぎ}調査した。

- ^{かいわのうりよく}会話能力

- ^{わだい}いろいろな話題について^{にじゅうふんいじょうにほんご}20分以上日本語で^{おうとう}応答できる力をもつていた。
- ^{ながれ}流^おちょうどが^{せいと}落ちる生徒もいた(長^{ちょうぼいん}母音、促^{そくおん}音、撥^{はつおん}音が短^{みじか}くなる、「シ」「ジ」などが英語の音に近^{みじかくなる、「シ」「ジ」など能いご}くなる、「国語」が「キョクゴ」になるなど)
- ^{えいご}英語の混用がみられた(「Universityで、creditを^{こんよう}getする.....」)
- ^{えいご}Fillerが英語を使うこともあった(“hm...”, “Ok”, “sure” など)

日本語継承語話者の日本語能力 II

どっかいりょく

● 読解力

- 読む力を日本の^よ4^{ちから}年生と比べると、継承語話者の^{にほん}11^{ねんせい}年生が^{ねんせい}48.8(50点^{てん}が標準^{ひょうじゆんち}値)、12^{ねんせい}年生が61.8で、平均は4^{へいきん}年生^{ねんせい}だった。

表 13 ● 読解力診断テストの結果

() 標準偏差値

学年	読字	語彙	文法	読解	偏差値
Grade11 (21 名)	14.5 (3.1)	14.0 (4.3)	7.9 (3.0)	18.2 (8.2)	48.8
段階	3	3	3	3	3
Grade12 (11 名)	17.7 (3.5)	19.2 (6.1)	10.7 (4.3)	22.4 (6.8)	61.8
段階	4	4	4	4	4

日本語継承語話者の日本語能力 III

さくぶんりょく

● 作文力

- ひらがな、カタカナ、^{かんじ}漢字を使い分けて「子供時代の思い出」という^{さくぶん}テーマの作文を書く子どもができた。だが、段落の意識が^{いしき}弱い、「です、ます体」と「だ体」との混用、短文が多い、助詞の脱落などが目立った。

表 13 ● 読解力診断テストの結果

() 標準偏差値

学年	読字	語彙	文法	読解	偏差値
Grade11 (21 名)	14.5 (3.1)	14.0 (4.3)	7.9 (3.0)	18.2 (8.2)	48.8
段階	3	3	3	3	3
Grade12 (11 名)	17.7 (3.5)	19.2 (6.1)	10.7 (4.3)	22.4 (6.8)	61.8
段階	4	4	4	4	4

ELJ105 ファイナルプロジェクト I

- Digital Storytelling Project
 - <http://digitalstorytelling.coe.uh.edu>



- デジタル・ストーリーテリング研究
 - <http://www.learning-v.jp/dst/>

A Study Group Working on Digital Storytelling
デジタル・ストーリーテリング (DST) 研究所

★メインメニュー

- トップページ
- 当サイトについて
- ワークショップ情報
- 新しい公共
- お問い合わせ
- リンク集

★一般作品紹介

- 富田さんの作品
- 松浦さんの作品
- 高村さんの作品
- 松田さんの作品
- 米山さんの作品
- 岡橋さんの作品
- 藤堂さんの作品

★SPECIAL NEWS & TOPICS

「From被災地 To被災地」

すべての人に物語があります。

東日本震災の被災地の方、故郷を離れ避難生活を送っている方、支援活動を行っている方、皆さんの体験と思いを映像作品で共有します。

作品は人々からのメッセージです。

苦難・不安・希望・感謝の声を共有することから、相互理解と対話を生み出したいと考えます。

東日本震災の関連で映像制作を希望される方は下記までご連絡ください。

moza@learning-v.jp



Bibliography I

This presentation slide was created with $\text{\LaTeX}$ and *beamer* $\text{\LaTeX}$ style.